

データ番号	412
効用の種類	物理・化学作用による環境改善効用
見出し	パピルスが水を浄化する
出典	(日本農業新聞 1991.7.17掲載) 「ため池の水質浄化に関する総合的調査研究」 大阪府農林技術センター
内容	大阪府は堺市と共同で*こも池を対象に「ため池の水質浄化に関する総合的調査研究」事業の1つとして、古代紙の原料として知られるパピルスを植えた。 パピルスは増殖率が高いため、水質汚染の問題物質である窒素・リンの吸収量が**ホテイアオイに比べて2～3倍高かった。また、栽培したパピルスを用いた古代紙の特産品を開発したり、景観植物としての利用価値も高く、管理に問題の生じているホテイアオイに代わる植物として期待されている。
備考	*こも池：まこもというイネ科の多年草植物が自生している池 まこもの葉はこも（むしろの一種）を編む材料として用いられ、若い茎は食用にもされる **ホテイアオイ：水質浄化植物として利用されている